

令和 7 年度 第 2 回春日区地域協議会 次第

日時：令和 7 年 5 月 14 日(水)

午後 6 時 30 分～

会場：上越市市民プラザ 第二会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

自主的審議事項について（地域のコミュニティについて）

(2) その他

4 その他

(1) 次回開催日程について

・日 時：令和 年 月 日（ ）午後 時 分～

・会 場：_____

・内 容：_____

(2) その他

5 閉会

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）

その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）

その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）

その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）

その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

自主的な審議事項に関する自由意見

○子供たちに地域に愛着を持ってもらい、春日区に住み続ける、帰ってきたいと思える地域

○誰もが誰かとつながっている地域

	委員氏名（敬称略）	賛否	意見概要
1	飯田	○	いろいろな人と会う機会、地域との交わりをどのように作っていくかが一番大事
2	池亀	○	高齢者と子どもとのつながりをどのように持てばよいか考えていかなければならない
3	市川	○	子供に春日区に帰ってきてほしいなら、魅力ある春日区を作らなければならないことについてもう少し真剣に考えなければならない
4	上野	○	様々なコミュニティの人たちと意見交換する場、子供に意見を聞いたり、コミュニティについて話し合う場を持てるとよい
5	太田		
6	折橋	○	ただ生活するだけではそこを”ふるさと”と思わない。子供たちにとって春日区を思い出のある場所にしたい
7	小林		
8	崎田		春日区というと、ほぼ春日山城跡、観光資源の話。そこからどんな話をしたらいいのかまだ分からない。
9	瀧本	○	賛成
10	田中	○	今の委員で知恵を出し合い、春日区の中で子供たちや高齢者が幸せになる方法を課題として挙げ、それに向かって進むことは大事
11	田邊		
12	原	○	高齢者のみの世帯が除雪などの対処を出来る仕組みを考えなければならない
13	本多	○	一人になっても誰かとつながっていた方がよい。声を掛けられなくても自分から参加することが大事
14	松澤	○	いろいろなコミュニティが存続の危機にあると考えるので、解決していきたい
15	山田	○	それぞれの地域に、いつでも誰でも居られる、そこに行けば誰かがいる施設、場所があるとよい
16	山谷	○	まずはどうしたら子供たちが“上越に”帰ってきたいか、高齢者のみ世帯の方とのつながりをどうしていくか、広い意味でつながりを考えて行くことが必要
17	吉田（実）	○	小さな単位のコミュニティで高齢者に寄り添えるサロンを行うことが望ましい
18	吉田（義）	○	各町内にあるコミュニティが有機的につながるような体制を作ることが大事
19	渡部	○	進め方についてはこれでよい。このテーマに期待する。

文言修正案

- 子供たちが愛着を持ち、このまま住み続けたい、帰ってきたいと思える春日
- 誰もが誰かとつながっている春日

中部まちづくりセンター 地域協議会 各区「自主的な審議」の進捗・予定

令和7年度第2回春日区地域協議会
令和7年5月14日
3議題（1）自主的な審議
資料No.2

全区共通当初 スケジュール	1年目									2年目							資料No.2	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	～3月	備考	
当初 スケジュール	フリーディスカッション			見て、聞いて、感じて「地域を知る」			町内会や地域で活動する団体の 意見や活動状況などを把握する 「地域の声を聞く」		課題の抽出		課題の整理		課題の設定				・課題整理 ・課題設定 ・課題協議 ・研修(適宜)	

自主的な審議の 進捗	上段：地域協議会 下段：委員研修（非公開）																
新道								自主的な審議事項 地域課題の整理（強み・弱み）			・農業経営…計画報告	自主的な審議事項 地域課題の整理、設定	自主的な審議事項 地域課題の協議				
		フリーディス カッションⅠ	フリーディス カッションⅡ	地域を知るⅠ 審議のシミュ レーション	地域を知るⅡ 地域の歴史講話 （古代編）	地域を知るⅢ 地域の歴史講話 （近世～近代 編）	地域を知るⅢ 新道区の歴史から 考える現代（い ま）										
春日							自主的な審議事項 地域課題の整理（強み・弱み）＊地域のコミュニティ				自主的な審議事項 地域課題の設定	・農業経営…計画報 告（農政課）	自主的な審議事 項 地域課題の協 議				・時期未定：高志児童館方針 （子ども家庭センター）・時 期未定：施設の諮問可能性（魅 力創造課）
	フリーディス カッションⅠ		フリーディス カッションⅡ	地域を知るⅠ 審議のシミュ レーション	地域を知るⅡ 春日山歴史講 話・散策	地域を知るⅢ 地域のコミュ ニティ											
諏訪						小学校閉校後の 利活用、諏訪児 童館の休止	学びの多様な学校 諮問、公民館移転 説明	公民館移転諮問				・農業経営…計画報告					
		フリーディス カッションⅠ	フリーディス カッションⅡ	地域を知るⅠ 疑問解消	地域を知るⅡ 地域の歴史講話				地域の声を聞くⅠ すわっ子クラブ	地域の声を聞くⅡ 移住促進諏訪の会	地域の声を聞くⅢ		地域の声を聞くⅣ	地域の声を聞くⅤ			
津有												・農業経営…計画報告					
		フリーディス カッションⅠ	フリーディス カッションⅡ	地域を知るⅠ 審議のシミュ レーション	地域を知るⅡ 地域視察 （津有区散策）	地域を知るⅢ 津有区散策の振 り返り	地域の声を聞くⅠ～Ⅱ 「地域に聞きたい事」の整理		地域の声を聞くⅢ・Ⅳ 町内会への質問事項整理		地域の声を聞くⅤ		地域の声を聞くⅥ				
高士										地域の声を聞くⅣ 「地域に聞きたい 事」の整理	地域の声を聞くⅤ	・農業経営…計画報告	地域の声を聞くⅤ				
		フリーディス カッションⅠ	フリーディス カッションⅡ	地域を知るⅠ 審議のシミュ レーション	地域を知るⅡ 地域視察 （高士区散策）	地域を知るⅢ 高士区散策の振 り返り	地域の声を聞くⅠ～Ⅲ 「地域に聞きたい事」の整理										

4年間のスケジュール（獲得目標）

4年目	課題解決のための最終調整（夏）→必要に応じて予算計上（秋） →活動報告会（冬）
3年目	課題解決のための協議（必要に応じて関係団体等との意見交換、 アンケート、視察等を実施）
2年目	課題抽出→情報収集・学習→課題整理（協議方針決定）
1年目	地域の課題抽出のための事前学習

○参考

問題：実現したい目標と現状との間に生じている差異

課題：差異を埋めるための取り組み

対策：取り組みを実施するための具体的な方法

「課題解決」のためのフレームワーク

プロセス	内容		
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	【例】 住民組織の場合	会員、参加者が少ない、資金が不足している、実行できる人材がいらないなど
原因分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。		「事業開催資金の調達ができている」「人手不足で組織の管理ができている」など。
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。		「協賛金を獲得する」「人材発掘をする」「ツールの導入で作業を効率化・可視化する」など。
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。		

目的（何のために）	物（何を）	実施方法（どうする）	実施者（誰が）
場所（どこで）	時期（いつ）	数量（どれくらい）	経費（いくら）

➡

- ・地域：町内会や団体と協議（地域独自の予算の活用含む）
- ・市：意見書

- ・地域：町内会や団体と協議（地域独自の予算の活用含む）
・市：意見書

自主的な審議のフレームワーク

令和7年度第2回春日区地域協議会
令和7年5月14日
3議題（1）自主的な審議
資料No.3-1

テーマ①

○ ○ ○ ○ ○ について

～子供たちが愛着を持ち、このまま住み続けたい、帰ってきたいと思える春日～

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	・ 人口減少と高齢化の進行
原因（問題）分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	・ 少子化、子どもの市外・県外流出
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	・ ・ ・
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	



解決策のための協議事項

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	

自主的な審議のフレームワーク

令和7年度第2回春日区地域協議会
令和7年5月14日
3議題（1）自主的な審議
資料No.3-2

テーマ②

○ ○ ○ ○ ○ について

～ 誰もが誰かとつながっている春日 ～

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	①新たなコミュニティ形成が困難 ①担い手、活動の参加者がいない ②空き家の管理状況、防犯面が不安 ③除雪、災害対応が困難
原因（問題）分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	①地域行事への参加しづらさ ②空き家の増 ③高齢者のみ世帯の増
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	・ ・ ・
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	



解決策のための協議事項

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	